

# 中岳



## Top contents

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 平成27年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 通常総会 ..... | 3  |
| 平成27年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議員会 ..... | 5  |
| 平成27年度第2回熊本市学校歯科研修会 .....        | 17 |
| 熊本地震の記録 .....                    | 28 |



# CONTENTS

|                              |         |    |
|------------------------------|---------|----|
| 巻頭言                          | 井野 健 理事 | 1  |
| 会長指針                         |         | 2  |
| 平成27年度一般社団法人熊本市歯科医師会通常総会     |         | 3  |
| 平成27年度一般社団法人熊本市歯科医師会審議委員会    |         | 5  |
| 平成27年度第2回国立病院機構熊本医療センターとの協議会 |         | 8  |
| 医歯連携セミナー                     |         | 10 |
| 歯科救急医療協議会と開放型病院連絡協議会         |         | 12 |
| 学術講演会                        |         | 15 |
| 平成27年度第2回熊本市学校歯科研修会          |         | 17 |
| 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会       |         | 18 |
| スタディー                        |         | 20 |
| 高雄歯科医師会との交流会                 |         | 23 |
| 会員寄稿                         | 西村 幸郎   | 25 |
| 熊本地震の記録                      |         | 28 |
| スポーツの広場                      |         | 30 |
| 会務報告                         |         | 31 |
| 編集後記                         |         |    |

## 表紙のことば

### 本妙寺 桜灯籠と夜桜

毎年3月の最後の土曜日の夜に行われるこの催しは、初めは町づくりのための活動だったが次第に各地からの訪問者が多くなってきました。  
(N.O)

# 巻 頭 言

## 二つの新事業を推進



井野 健 理事

旧地域保健委員会と旧学校歯科委員会が統合し、地域学校歯科保健委員会として活動を始めて一年が経過しようとしています。旧地域保健委員会、旧学校歯科委員会はともに歯科保健推進、啓発活動を行っていましたが、対象者が一般市民か小学生かの違いで目指す所は同じであると思います。方向性が同じ委員会が協力し、効率の良い活動が行えているところです。

6月には、歯科医師会として対外的な最大のイベントである「歯と口の健康週間」「歯の祭典」が控えています。地域学校歯科保健委員会としての課題は、健康週間期間中での各歯科医院で行われる無料歯科健診において市民の皆さまにどうしたら健診に来てもらえるか、またどうすれば治療に結びつけられるかという事です。今まで、ラジオ、テレビ、折り込み紙等の広報活動を行ってきましたが、なかなか市民の足が歯科医院に向かないのが現状です。市民の皆さまが、歯科医院に行きたくなるようなインパクトのある告知の方法はないものかと模索している次第です。

来年度からは、新たに熊本市歯科医師会と熊本市歯科保健推進協議会との共同事業の無料歯科健診が始まります。この健診は、熊本市のローソン、市・区役所、各区保健福祉センターに設置してある健診カードを見て、希望者が歯科医院に連絡して来られます。健診料・委託料は発生しませんが、新たな患者さんの掘り起こしツールとして活用していただくと幸いです。また、後期高齢者健診事業は、熊本市国保課との事業提携を行っており、1人につき年度中に1回、6月から翌年3月までの期間で行う事となっております。熊本市の発行した健診票をお持ちの方のみ対象となります。この健診は、一部負担金が400円かかりますので、必ず徴収をお願いします。残りは後日、振り込まれます。

歯と口の健康週間や、後期高齢者健診事業も、患者さんにまずは先生方の診療所に来てもらい、歯の大切さを感じ取っていただき、継続して治療、メンテナンスを受けていただけるような活動につながればと思っています。今後ともご協力宜しくお願いします。

## 会長指針

# 未曾有の災害を乗り越えて



今回、被災された会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。幸い会員及び関係者に、人的な被害は耳にしておりませんが、建物や機材の損壊で診療ができなくなっている会員には、おかけする言葉も見つかりません。1日も早い復旧を願うばかりです。

熊本地方は、4月14日（木）午後9時26分と、16日（土）午前1時25分に、突然震度7という阪神・淡路大震災に匹敵する地震に2度も襲われました。その後も強い余震が何度も繰り返し、大小合わせた余震の数は、1300回を超え、気象庁の観測史上1位となっています。4月25日時点では、発生から10日を経て、余震の数も大きさもだんだん収束する方向に向かっているように感じます。このまま収まってくれる事を願うばかりです。

熊本市歯科医師会は、緊急対策本部を招集し、熊本県歯科医師会と連携しながら、さまざまなことに対応しております。今回のような滅多にない非常事態に際して本会として何ができるかを常務会や理事会で熟慮しております。会としてできる範囲の中で、会員の皆様へ最大限のご支援ができればと考えております。

地震直後は物資の補給が重要でした。全国から集まった歯科用支援物資の振り分けに忙殺される時期もありましたが、現在では、必用な所に必要な物を届けていく事が大切になります。そのために県歯、各都市歯科医師会をはじめ、医師会、行政、ボランティアで活動している先生方、衛生士会、技工士会等、各団体間で情報を持ち寄って整理統合し、効率的に行う必要があります。

また、今後必要になってくるのが治療や口腔ケアの部分です。益城町、西原村、南阿蘇村などに比べると、熊本市内は住宅の全壊、半壊といった家屋は多くはありませんが、それでも避難所生活を余儀なくされている方がいらっやいます。そこに対してどのようにアプローチして行くかを考えなければいけません。避難所生活が長くなると、気力体力の低下にストレスも加わって、体調を壊す人が増えて来ます。高齢者の場合は誤嚥性肺炎のリスクも高まって来ますので、何らかの手を差し伸べて行かなければいけないと思っております。

熊本市内はライフラインもかなり回復してきて、日常生活を取り戻しつつあります。しかし、患者さんも自分の事で精一杯で、緊急的な状態を除けば歯科医院への来院は後回しになりがちで、各医院が元の状態に戻るにはしばらく時間がかかると思います。歯科医師会の事業計画も見直しが必要になる場合も出て来ると思います。今出来ることを精一杯行って行きましょう。今が底で、後は上がっていくだけです！

「頑張ろう！熊本」

「頑張ろう！熊本市歯科医師会」

# 新年度の予算及び事業計画承認される

平成27年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 通常総会



片山晃紀議長と斉藤忠継副議長の下、滞りなく進行する

3月31日（木）19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、平成27年度一般社団法人熊本市歯科医師会通常総会が開催された。

1. 開会 小野秀樹常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 片山晃紀先生

副議長 斉藤忠継先生

3. 議事録署名人選出

與儀実彦先生

萱野至仁先生

4. 会長挨拶 宮本格尚市歯会長



忌憚なきご意見をお願いします

## 【要旨】

皆様、忙しい中お集り頂き有難うございます。

先週末に台湾の高雄市歯科医師会の先生方がお見えになられ、執行部と交流会を行いました。懇親会にて非常に有意義な時間を過ごすことができました。今後も良い交流ができればと思います。本日の総会は、新年度予算の承認、各委員会の予定報告を。それから協議に於いては会費均等割の一本化とそれに伴う会員種別の見直し。そして支部割り見直しの議題を出しております。これらに対して皆様の忌憚なきご意見を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

5. 来賓挨拶 浦田健二県歯会長



カルテンジャーの説明会を予定しています

## 【要旨】

明日より点数改正が行われます。慣れるのに少し大変だと思いますが、きめ細かい説明を社保委員会の方でさせて頂きたいと思います。ガン連携につきましては、丸3年が経ちます。年

ごとに紹介も増えてきていますので、先生方にも対応をよろしくお願ひしたいと思います。また6月4日にカルテンジャーの説明会を予定しています。県歯科医師会もいろいろ懸案事項ありますので、会員の皆様方から貴重なご意見をお寄せいただければと思います。

## 6. 報告

- 1-1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 1-2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 1-3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 1-4) 監査報告 蔵田幸一監事
- 2) 審議員会報告 秋山清先生

## 7. 議事

- 第1号議案 平成28年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件
  - 第2号議案 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件
  - 第3号議案 平成28年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件
  - 第4号議案 平成28年度熊本市歯科医師慶弔金制度会計予算案の承認を求むる件
  - 第5号議案 平成28年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件
  - 第6号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会選挙規則の一部改正(案)の承認を求むる件
  - 第7号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会収益事業会計から一般会計への繰り入れの承認を求むる件
- 第1号議案から第7号議案まで全て承認可決された。

## 8. 協議

- 1. 均等割と会員種別変更について
- 2. 会員種別変更に伴う定款、定款施行規則及び諸規則の変更について

## 3. 支部割り変更について

Q. (中央支部 菅原洋会員)



支部割りについて質問される

今までの支部はそのまま、行政に対しての支部割りを新しく作れば良いのではないのでしょうか？

A. (執行部)

貴重なご意見ありがとうございます。支部分担金の問題もありますので、今後の検討課題とさせて頂きたいと思います。

Q. (中央支部 秋山清会員)



再度支部割りの説明会を

6月の総会までに、もう一度会員に支部割りの説明をお願いできればと思い、意見を出させて頂きました。

A. (執行部)

昨年の秋に3日間に渡って説明会を行いましたけれど、30名程の出席でした。新たにその様なご意見があれば、何らかの形で新しく説明を加えて手厚く対応していきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

## 4. その他

## 9. 閉会 渡辺猛士副会長

(広報 鯨川正和)

## ～会員種別の見直しと定款の変更～

平成27年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会



全員出席のもと、開催される

3月23日（水）19時30分より県歯会館3階市会議室にて平成27年度一般社団法人熊本市歯科医師会審議委員会が開催された。

1. 点呼 小野秀樹常務理事

2. 開会 小野秀樹常務理事

3. 議長及び副議長選出

議長 秋山 清先生

副議長 松田 恵先生

4. 議事録署名人

東部3支部 堀田浩史先生

東部4支部 田中利明先生



ご意見をお聞かせ下さい

5. 会長挨拶【要旨】

みなさんこんばんは。本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。我々執行部は1名の理事の交代がありましたが、この体制になって2期目を迎えます。また、支部によっては新しい支部長を迎えたところもあります。先生方には新鮮な目で見ていただき、忌憚なきご意見をよろしくお願いいたします。

本日は会計関係の審議事項が中心です。以前は3月が年度末の締めでしたが、一般社団法人化してからは6月締めになりました。ただ、会計の締めは3月ですのでどうしてもずれが出てやりにくいところがありますが、決まりですので、よろしくお願いいたします。そして、そのほかの審議事項としては、4月以降の予算案等もあります。

一方、協議の方では会費の均等割一本化とそれに伴う会員種別の見直し、定款等の変更、熊本市の政令指定都市移行に伴う支部割見直しという3つの大きな事項があります。これについては6月の総会で承認していただけたら、次年度より施行していきたいと思っています。また、この内容について各支部の先生方には説明会等でほぼ同意をいただいておりますが、支部割りについて一部の先生から反対の意見も出ていま

す。この事も踏まえまして本日は先生方のご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

## 6. 報告

- 1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 4) 監査報告 稲葉逸郎監事

Q) 会計現況で事業費等が計上されていませんがよろしいのですか？（北部3谷口守昭先生）

A) 時期的なことでもまだ計上されていませんが、6月の総会の時には計上されてきます。（執行部）

## 7. 審議事項

1. 平成28年度熊本市歯科医師会事業計画案について
2. 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計予算案について
3. 平成28年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案について
4. 平成28年度熊本市歯科医師会慰金制度会計予算案について
5. 平成28年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法について
6. 一般社団法人熊本市歯科医師会選挙規則の一部改正（案）について
7. 一般社団法人熊本市歯科医師会収益事業会計から一般会計への繰り入れについて



事業費について質問される谷口支部長

## 8. 協議

### 1. 均等割りと会員種別変更について

・現在定款では本会の会員は一般会員、特別会員、勤務会員に分けられていますが、これを日本歯科医師会や熊本県歯科医師会に準じて正会員と準会員に分けたいと思っています。正会員は選挙権がある、準会員にはないと言うのが大まかな区別です。正会員はさらに第1種会員、第2種会員、終身会員に分け、準会員は第3種会員、第4種会員、第5種会員に分けたいと思っています。

### 2. 会員種別変更に伴う定款、定款施行規則及び諸規則の変更について

・定款内の一般会員、特別会員、勤務会員の表記を正会員、準会員に変更する予定です。

・会費を1年以上払われない先生がいらっしゃいます。払われないのに会の行事に参加されるのは少しおかしいという話になりました。そこで、定款第6条を変更し、6か月以上滞納した場合には何らかの権利を制限したいと思っています。制限する内容に関しては現在検討中です。

・定款外部協力組織（支部）規則第2条の北部1支部、北部2支部…川尻支部の表記を北区第1支部、北区第2支部…西区支部に変更、第3条の4も変更する予定です。

・熊本市歯科医師会慰金制度規程の規程という表記を規則に、事務局規程第1条の中の規則表記を規程に、入院者歯科診療実施要項の要項表記を規程に、入所者歯科診療実施要項の要項表記を規程にそれぞれ変更する予定です。それは、規則という言葉が付くものに対しては総会で可決し、規程という言葉が付くものに関しては理事会で決定、承認して、総会で報告事項にしたいからです。

・一般社団法人熊本市歯科医師会準会員規則、一般社団法人熊本市歯科医師会入会

金・入会金及び会費賦課徴収規則、一般社団法人熊本市歯科医師会入会金・入会負担金及び会費賦課徴収施行細則を新たに作りました。

### 3. 支部割り変更について

- ・新しい支部割りは6月の総会で議案として出して、そして可決した場合は来年の7月1日から始まることになります。また、新支部長の先生を選ぶにあたっては、最初は経験者をお願いした方が良くと思います。執行部からご依頼をしたいと思っています。

### 4. その他

- ・熊本県後期高齢者歯科口腔健康診査事業について

本事業の説明会を5月17日（火）に行う予定ですが、その時に広域連合が作成したマニュアルと熊本市が作成する受診券の見本を配布します。内容に関しては、説明会の時に担当理事が詳しく説明いたしますので、参加のほどよくお願いいたします。

- ・無料健診事業について

熊本市では歯科啓発に関する新たな事業として、5月よりローソンなどの窓口で歯科啓発カードを置くことになりました。本会もこの活動に協賛し、そのカードに本会会員診療所での無料歯科健診券を付け、それが新たな患者さんの掘り起こしになればよいと思っています。本健診事業における委託手数料はありません。ま



田ノ上支部長は無料健診について質問

た、諸事情により健診が困難な場合はお断りいただいても構いません。

Q) 無料健診のやり方はそれぞれの医院まかせでよろしいのでしょうか？（北部1田ノ上 輝先生）

A) 妊婦健診で使っているような用紙を担当理事が作ることになっています。それに準じてやっていただければよろしいかと思います。（執行部）

- ・カルテンジャーについて

本会にて、カルテンジャーというレセコン電子カルテの機能拡張としてのソフトを搭載した書籍を、一括購入することになりました。開発されたのは現日本歯科医師会社保委員の小野清一郎先生です。

6月4日（土）に小野先生による説明会を予定しています。このソフトを使うかどうかは、この説明会をお聞きになってそれぞれで判断してください。ただし、ヨシダ等このソフトに対応していないメーカーがありますので、注意してください。

## 9. 閉会

田中弥興副会長

（広報 飯田誠治）



## 地域医療の一翼を担う

### 平成27年度第2回国立病院機構熊本医療センターとの協議会



紹介率は年々増加傾向にある

国立病院機構熊本医療センターと熊本市歯科医師会との連絡協議会が平成27年12月15日（火）19時より、熊本医療センター会議室にて開催された。

#### 出席者

熊本医療センターより河野文夫院長、高橋毅副院長、片渕茂副院長、清川哲志統括診療部長、中島健歯科口腔外科部長、北田真己救急救命科医長、熊本市歯科医師会より宮本格尚会長、田中弥興副会長、高松尚史専務、医療管理有働秀一理事、高橋禎同委員長

まず熊本医療センター院長の河野文夫先生より、歯科医師会の先生方に日ごろのお礼があり、更に医科歯科の連携が必要になってくる事、今後病床削減等医療再編等の問題があるが、これからの医療センターは24時間受け入れ体制の充



24時間受け入れ体制を充実させます

実や急性期医療を続け、地域医療の一翼を担うよう努力していると述べられた。続いて熊本市歯科医師会長の宮本先生より、さらなる歯科医師会と熊本医療センターとの連携を充実していくためにも、医科歯科連携の必要性を述べられた。

協議に入り、医療センターの先生方からの説明があり、内容は以下のとおり。

#### 1. 歯科紹介率について

平成27年度の歯科紹介率は11月まで43.6%。例年、12月から3月までは紹介率が落ちているが、年々増加傾向にある。歯科地域医療支援病院紹介率は11月までで42.7%で例年に比べ増加。また歯科紹介患者数は11月までで697名。昨年度とほぼ同じ患者数。ただ7、8月は100名を超え、前年度に比べ増加している状況だと考えられる。国立のキャパシティとしては、もう少し増やしていけるそうで、今後、さらに紹介患者が伸びるよう努力していくとのこと。

#### 2. 歯科救急医療について

利用状況について、本年は11月までで211件。昨年1年間の受診患者数を超えた。例年通り外傷が多かった。歯科関連の救急患者も同様。内



更なる医科歯科の連携が必要

容は交通外傷（自転車・バイク）が一番多く他では歯牙破折や脱臼。歯科一般では口腔出血、歯周炎、抜歯後出血、顎関節脱臼、歯根嚢胞、骨髓炎、蜂窩織炎などで大きな変化はなかったが、今年は6月から壊死性筋膜炎の患者が増加していた。救急外来で受診した患者の中で入院されるのは1月あたり大体5～7名。

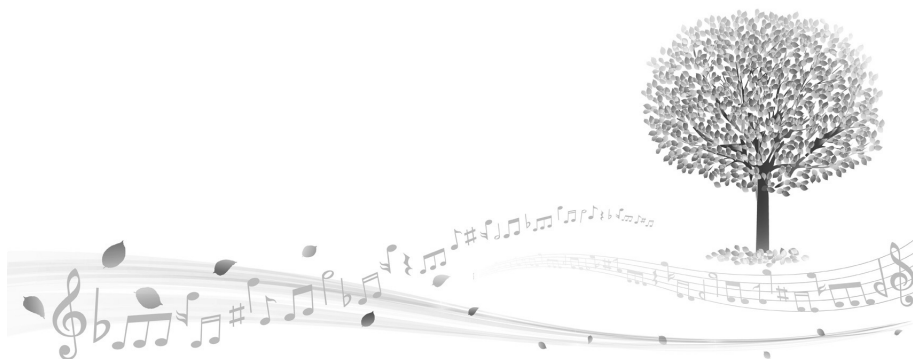
### 3. 歯科医師研修について

次回医歯連携セミナーは、2月17日（水）20時から医療センターにて「歯科と認知症」と題して国立病院機構菊池病院の木村武美先生が講演される。また熊本摂食・嚥下リハビリテーション研究会は1月19日（火）に「栄養障害と接触嚥下障害」と題して開催。参加者はSTが50名程度、DHも多く参加。これからは医師・歯科

医師の積極的な参加を期待しているとの事。平成28年度医歯連携セミナーは6月16日（木）と8月18日（木）と平成29年2月16日（木）20時より開催する予定。平成27年度第2回開放型連絡会が平成28年2月27日（土）18時30分より熊本医療センター2F地域医療研修センターホールにて開催予定。今回は総会と特別講演があり、講演は「新診療報酬改定」と題し厚生労働省医政局総務課保険医療技術調整官の町田宗仁先生予定。その他症例提示を代謝内科の西川先生と外科から腹腔鏡手術について予定。

最後にこれからも国立病院機構熊本医療センターと熊本市歯科医師会の連携を深めていくことを確認して閉会となった。

（医療管理 高橋 禎）



# 「歯科と認知症」

## 医歯連携セミナー



認知症の予防に歯科の介入は重要です

2月17日（水）国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて、第71回医歯連携セミナーが開催された。出席者は院長、スタッフの他看護師含め55名。

「歯科と認知症」と題して、国立病院機構菊池病院院長 木村武実先生の講演があった。

認知症疾患は、1. 変性型認知症（アルツハイマー病・レビー小体型認知症・前頭側頭葉変性症）2. 血管性認知症 3. 混合型認知症 4. その他の認知症に分類される。認知症の患者の30%はアルツハイマー病で、レビー小体型認知症18%、前頭側頭葉変性症27%、血管性認知症は20%となっている。

アルツハイマー病は認知症の症状が出始める20年前からアミロイド沈着が始まり、さらに10年遅れで神経原線維が壊され発病する。特徴として記憶障害・時間の見当識障害で発症緩徐な進行、神経症状は目立たない、もの忘れの自覚

症状がないか、あっても深刻味に乏しく取り繕う、その人らしさがなく児戯的で、8～9割に嗅覚障害が認められる。

レビー小体型認知症は、特徴として注意や覚醒レベルの変動を伴う認知機能の動揺、繰り返して出現する幻覚、自然発生のパーキンソニズムの出現がある。うつ病高齢者に伴いやすい症状の一つに、口腔内セネストパチーがある。「歯肉が痛い」「ビリビリする」「針金が刺さっている」と訴えることがある。「異常はない」と説明しても納得せず、ドクターショッピングを繰り返す。

前頭側頭葉変性症は、記憶障害より性格変化・コミュニケーション障害が早く出現（道徳観念がなく、平気で物を盗る（ピック型）・無関心、活動性低下（前頭葉変性型））、心理検査時には一生懸命に考えず即答・中断、反復動作、無謀な運転、金銭管理に問題を生じる、嗅覚障害は



質問に立つ谷口守昭会員

少ないという特徴がある。前頭側頭葉変性症にアリセプト（アルツハイマーの治療薬）の投与でBPSDの悪化のリスクがある。これは、重大な倫理的問題であり、医療費の無駄遣いでもある。前頭側頭葉変性症の診断は重要である。

脳血管性認知症は血管病変の場所によって症状は様々だが嗅覚障害は少ない。皮質下血管性認知症の場合、記憶障害は軽度、実行機能・注意の障害、アパシー、皮質下運動障害が目立つ。

BPSDの原因は薬剤・身体合併症（疼痛・痒み等）・身体＋薬・その他がある。治療はアロ

マセラピーや家族・介護環境のチェックと改善、薬剤投与（フェルガード）がある。

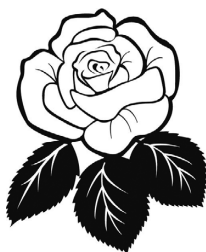
認知症では口腔衛生状態の悪化や認知機能の低下で死亡率が上昇するが、その主な原因は誤嚥性肺炎である。認知症における歯科の役割としては口腔ケアと補綴治療が必須である。

重症認知症、前頭側頭葉変性型では、治療の必要性が理解されず治療への協力困難なため、侵襲的な歯科治療には十分な全身管理下のIVS（ミダゾラム、プロポフォール）が有効ある。全身麻酔は非協力性の強い患者に対して、多数のう歯の一括治療の場合選択する。う歯の疼痛は、BPSDの原因にもなるため治療は必要で認知症の予防としての役割もある。65歳以上で歯がほとんどなく義歯未使用の人は、20本以上の歯を有する人と比較して、認知症のリスクは1.9倍になる。また歯周病細菌のLPSはアミロイド斑の数を増加させることから、定期的な歯科の介入の継続は、認知症の予防として重要である。

以上の内容で講演があった。

今後、超高齢化社会をむかえ増加する認知症患者の歯科対応について考え、歯科医と認知症専門医との顔の見える連携が重要となると考える。

（医療管理 宇都和寿）



# 緊急医療の状況報告とかかりつけ歯科医との医療連携が大事

## 歯科救急医療協議会と伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会



### 今年度から休日当番を会員の輪番制に

3月10日（木）19時30分より県歯会館3階市会議室において歯科救急医療協議会及び伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会が開催されました。

出席者は国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科部長の中島健先生、熊本市市民病院歯科口腔外科部長の太田和俊先生、熊本大学歯科口腔外科から尾木秀直先生、宇治歯科医院院長の宇治寿隆先生、伊東歯科口腔病院から病院長の伊東隆三先生、副病院長井原功一郎先生、診療科長の中井大史先生、事務局長の相良孝治様と総務の坂本雅一様、また熊本市歯科医師会からは、副会長の渡辺猛士先生、専務理事の高松尚史先生、厚生委員会理事の嶋田英敏先生、医療管理委員会理事の有働秀一先生と委員長の私高橋禎でした。

まず、渡辺先生より開会の挨拶があり救急医療を依頼している4つの病院へお礼を述べられ、歯科救急医療の必要性を話されました。歯科医師会も今年度から日、祝日昼間の休日診療を会員全員の輪番制にして行うことを述べられました。

つぎに協議題に入り、今回から統計方法を統一化し、そのフォームを検討してもらいました。初めての試みのため、徐々に改善し、より良いフォームになればいいかと思われます。まず、

歯科医師会の嶋田先生より日曜祝日救急歯科利用状況（昼間の10時～16時）について説明がありました。平成27年4月から平成28年1月までの日祝日の昼間の当番医診療状況はおおむね1月あたり20件程度、多い月は10、11月でそれぞれ36件、24件でした。今年度の患者数は例年に比べ若干減少傾向でした。処置の内容は応急処置の単治、SP、投薬が多かったです。年齢別では0～9才と40、50才代が多い状況でした。90才代も1名いました。夜間の患者数は今回はわかりませんでした。この統計をどうするかは今後の課題となりました。緊急性の有り無しの判定はわかりませんでした。高松専務より統計フォームの緊急性の有り無しについて定義がないと統計が取れないのではと意見が出され、来年度は、なにか（2次病院歯科への紹介など）定義を決めて行く方向で話がまとまりました。また、歯科医師会から行政へのアプローチのためにも緊急性のある患者の把握は必要性があると伊東先生が述べられました。

次に各医療機関での救急医療状況について協議し、熊本医療センターでは平成27年度に救急外来から院内紹介された歯科救急患者数は昼間（8時半～17時）は24例で夜間は25例でした。内訳は例年と変わらず、外傷、炎症、出血、その他（顎関節脱臼など）で、6、7割が外傷でした。年齢別では各年代にあまり差はありませんでしたが80歳代が増加傾向にありました。高齢者は外傷が多かったです。

熊本大学では27年は平日昼間（救急外来→歯科）は18名、平日夜間は60名、土日祝日は108名でのべ186名でした。今回年末年始は少なかったです。年齢別では20代が一番多く36名でした。その他の年代では大体20名程度でした。今年4月からは救急歯科対応の常勤を2名設置することとなった。

熊本市市民病院では27年1月より27年12月までの状況の説明がありました。患者数は59名で昨年と同じ程度でした。昼間（8時～18時）のはべ46名で、夜間は13名でした。月別でも多い月はなく月に5、6件でした。治療内容は外傷処置が多く、炎症や抜歯、顎関節疾患がありました。そのほか、インレー誤飲にて胸腹部レントゲン撮影した方や咽頭ガンで耳鼻科へコンサルトした方、上顎洞口腔瘻閉鎖術を行った事例がありました。太田先生から、統計処理方法で炎症処置と投薬は同じになるのではないかという意見が出ました。年齢別状況では、各年代において大差なく3、4名程度でしたが、10代は11名と多かったです。男女別では2：1で男性が多かったです。今年は年末年始はいませんでした。市民病院も夜間の救急はオンコールで対応しているそうです。

宇治歯科医院では平成27年（H27.12.30～H28.1.4）の年末年始の急患診療業務実績は159名でここ5年間はこの程度で推移している状況でした。昼間の患者数は131名、夜間は28名でした。内容は、根管治療が一番多く30.8%でした。そのほか、炎症が23.9%、再セットが20.8%が多かったです。外傷は減ってきました。年齢別では、30才代～50才代が多く20名後半でした。男女比では約6：4で男性が多かったです。年末年始は24時間体制で対応しているとのことでした。

伊東歯科口腔病院において平成27年4月から12月では2220名でした。その中での昼間の初診の人数は647名でした。再診は318名でした。ま



統計方法の統一化が話し合われた

た夜間の初診は817名で再診は438名でした。月別に見ると大体200名程度ですが、5月と12月は300名を超えていました。治療内容は平成27年（1月～12月）においては昼間は炎症処置が多く、次に投薬、再セットが続いていました。夜間では炎症処置が多いのは昼間と変わらないのですが、外傷や根管治療が昼間の倍以上になっていました。また、緊急性ありの患者は2649名で緊急性なしは349名でした。年代別に見ると夜間の20才代が最も多く次に40才代が多かったです。



共同診療の啓蒙をしたい

年末年始の診療状況は308名でした。内容は炎症が最も多かったです。緊急性があると判断したものは236名、緊急性なしは47名でした。

今後、歯科救急の医療体制をもう少し明確にし、統計方法のさらなる統一化をすすめることが必要ではないかと意見が上がりました。救急搬送についても歯科医師会から救急隊に伝えていくことでより迅速な対応がとれるのではないかという意見が出ました。また、今後、歯科救急の認知度を上げていくために、救急隊との会議も必要ではないかという意見もありました。

これからの救急歯科医療協議会の方向性について、今一度この協議会の定義を明確にしていってほしい、統一のフォーマットの改善、結果報告を中岳に掲載する、救急体制システム構築などについてはなされました。またこの実績を積むことで行政にアプローチしやすくなるなどの活発な意見が出ました。また、地域医療構想に関して歯科のベッド数を考えると熊大25床、伊東歯科25床で回している状況なので、もう少し

し病床が増えてくれればとの意見も出ました

最後に、高松先生から、熊本市歯科医師会は、会員に対し休日診療を会員全員で受け持つようにしていくことになり、少しでも救急医療に対応病院の先生方の負担を減らしていきたいと述べられ閉会となりました。

続いて行われた、伊東歯科口腔病院と熊本市歯科医師会との開放型連絡協議会では、紹介23%、逆紹介53%でうまく機能しているとのことでした。また、昨年同様、共同診療の利用が少ない状態でした。患者さんも喜ばれるので、歯科医師会からも会員に対して、共同診療報酬1回につき350点つくのでさらに啓蒙活動を行ってきたいとのことでした。消灯時間の午後8時までの時間は都合の良い時間に共同診療ができる体制を整えているとのことでした。また、患者紹介の時には病態把握のため紹介状を患者に持たせることを会員に周知してもらいたいとの意見もありました。また、2ヶ月に一回集いを行っているが、ここ1年歯科医の参加者が増加している。県外からの参加者もいるとのことでした。

県外の登録施設は30数施設ある。

開放型病院とかかりつけとの先生との医療連携を行うことによって、地域の中で機能分担を行うことにより地域完結型医療が達成できるので、地域の拠点病院となるように機能分担を行っていきたいと考えていると述べられました。これからは歯科の医療圏を認識してもらい、発展していくためには県歯科医師会や各郡市の歯科医師会にも協力してもらうことが必要となっていくのではないかとはなされました。



拠点病院となるように機能分担を行っていきたい

(医療管理 高橋 禎)



# 『気をつけたい口腔内の病変－症例を中心に－』

## 平成27年度 熊本市歯科医師会第3回学術講演会

2月27日（土）、15時より県歯会館3階市会議室にて平成27年度熊本市歯科医師会第3回学術講演会が開催された。

講師に熊本市市民病院歯科口腔外科部長の太田和俊先生をお招きし、『気をつけたい口腔内の病変－症例を中心に－』という演題でご講演いただいた。



全身的なアプローチが重要

宮本格尚会長の開会の辞に続き、講演が始まった。今回の講演会では熊本市市民病院歯科口腔外科での20症例を提示いただいた。

まず舌癌を疑う口腔内写真を提示され、鑑別方法の提示をしていただいた。口腔扁平上皮癌の発生過程にはdysplasia-carcinoma sequence cancerとde novo cancerがあり、一箇所の癌を発見した場合、他の粘膜にも細胞異形成が起こる可能性があり注意深く観察する必要がある事を示された。

上皮異形成を示す疾患として正常な組織に比較し、癌が発生しやすい状態へ形態的に変化した組織である前癌病変として紅斑症と白板症が挙げられる。白板症の中では紅斑混在型が一番癌化しやすく注意が必要である。市民病院歯科口腔外科では前癌病変の紅斑症、白板症に対して紅斑症は切除 白板症の白板型は経過観察（希望があれば切除）、丘型は切除もしくは厳重経過観察、紅斑混在型、疣型は切除として対応

されているとのことであった。

次に口腔カンジダ症について提示していただいた。全身性エリテマトーデスなどの全身疾患、口腔乾燥症などの要因により発症頻度が多くなるとのことであった。これに関連して難治性口内炎を提示していただいた。1ヶ月以上治癒しない口腔咽頭に限局した潰瘍で、明らかな原因が不明な疾患で細菌ウイルス、カンジダ感染との関与が示唆される。口腔癌との鑑別では辺縁が明瞭で堤防状の白斑を認める事が挙げられるが、病理組織診断が必要であるとのことであった。

口腔扁平苔癬については自己免疫疾患と考えられているが、詳細は不明であり、難治性病変であり1%が悪性化すると報告がある。白板症の紅斑混在型との鑑別診断で生検が必要である。

尋常性天疱瘡について血液検査により、抗デスモグレイン抗体陽性を示し、ステロイドが効かない場合は致死的である。口腔全体にわたるびらん潰瘍症例は早めに専門医への紹介をする必要がある。また、腫瘍随伴性天疱瘡も提示していただき、天疱瘡と全身との関係について示していただいた。



様々な症例に目を見張る

その他前半ではHPV-2、4、6、10、40が関与する乳頭腫、炎症性筋繊維芽細胞性腫瘍、口底脂肪腫、エナメル上皮腫（骨隆起との鑑別で骨隆起は左右対称性にでてくるが、片側性や

前歯部の場合は画像診査が必要)、多形腺腫、歯根嚢胞などの症例と注意点を解説していただいた。

後半では口腔に異常を及ぼす全身疾患の症例を提示していただいた。まず、薬剤関連顎骨壊死についてビスホスホネート製剤、抗ランクル抗体製剤などの骨代謝阻害薬、血管新生阻害薬などで顎骨壊死が報告さるようになり、BRONJからMRONJに名称が変わった。これらは難治性の疾患であり、発症させないことが重要である。観血的処置は薬剤投与前に終わらせることが重要であり、早めの紹介、相談が大切であるとのことであった。

悪性リンパ腫リウマチに対してメトトレキサートの投与されている場合があり、服用薬剤の確認が必要である。メトトレキサートはもともと抗がん剤でありリウマチ治療薬として服用されている方が多く、リンパ増殖性疾患、薬剤性口腔粘膜炎、汎血球減少症、口腔内のびらんなどの原因となる可能性があることを知る必要があるとのことであった。

抗血栓療法による血腫 口腔内、下顔面の血腫については、口底腫脹による舌根沈下や咽頭狭窄による上気道狭窄の危険性があるため注意が必要である。最近では新規経口抗凝固薬（NOAC：new oral anticoagulants）ブラザキサ® エリキュース® イグザレルト®, リクシアナ®などを服用されている患者も多くなり、外科処置を行う際は、血中濃度のピークを避けて午後に行う、もしくは高次医療機関へ紹介する必要があるとのことであった。

急性骨髄性白血病について、すこしでも経過がおかしいものは全身疾患を疑うべきである。口腔内症状としては歯肉腫脹、歯肉出血、リンパ節腫脹など全身倦怠などあるときは血液検査をするべきであるとのことであった。

胃癌術の舌の疼痛は悪性貧血の可能性を考え、悪性貧血によるHunter舌炎の可能性を疑う。また通常原因不明のアレルギー疾患であり気道閉塞に対応できる状態が必要なクインケ浮腫（血管性浮腫）に対しても提示いただいた。

スティーブンジョンソン症候群（皮膚粘膜眼症候群）多くは抗菌薬、鎮痛剤、抗てんかん薬、市販の総合感冒薬などが原因と考えられているが、2週間以内に発症することがおおく、致死率も3%ほどあり、失明の危険性もあるため注意が必要であるとのことであった。

多発性含菌性嚢胞は10代に多く、多発性、大脳鎌石灰化、基底細胞母斑症候群などの特徴があり、多発性母斑基底細胞癌になる可能性があるので注意深い経過観察が必要であるとのことであった。

最後に脳膿瘍について提示いただいた。根尖性歯周炎から上顎洞、篩骨洞、前頭洞そして脳へと炎症の波及が起こることがあり、無菌状態の脳内に細菌感染が起こった症例を提示していただいた。脳膿瘍は通常、耳鼻科領域の疾患のことがおおいが、歯科起因ものが2%ほどある。上顎臼歯部の慢性病巣には注意が必要である。

我々開業医はまず、患者さんの訴え、口腔内の変化を見逃すことなく、紹介、相談を行う必要があると感じた。そのために、病変の特徴、症状をより知ることが大切であり、その為に今回の講演会では、様々な症例を提示していただき、それに対応する鑑別や治療法を知ることができ、会員一同知識の研鑽になったと感じられた。



大塚理事（右から二人目）より感謝状

講演は約2時間半にわたり行われ、最後に学術担当の大塚昭彦理事が、太田先生に感謝状の贈呈を行い、講演会を終了した。

（学術 久木田 大）

# 『新しい学校歯科医活動方針～児童・生徒の健康診断票を基に～』

平成27年度 第2回 熊本市学校歯科研修会



学校歯科健診の判定基準が一部変更されました

この度、学校保健安全法施行規則の一部改正が行われ、平成28年4月1日より施行されるのにもとない学校歯科健診の判定基準が一部変更されました。

それに対しての研修会を3月3日（木）20時より開催されました。今回も、県歯科医師会の「くま歯キャラバン隊」で、県歯学校歯科委員会理事の大林裕明先生に『新しい学校歯科医活動方針～児童・生徒の健康診断票を基に～』の演題で講演していただきました。

今回の改正の説明の前に、日本学校歯科医会の会長が変わる状況や、学校歯科医は、学校保健安全法により非常勤の嘱託的性格を持つ公務員として位置づけられ、保健教育・保健管理・組織活動に、保健に関する専門職として技術的な事、指導に従事することになっていることを伝えられました。



皆さま方は準公務員です

「学校歯科医の活動指針（平成27年改訂版）」より改正された要点は、歯列・咬合に対する基本的な判定基準が下顎前突は、前歯部2歯以上の逆被蓋となり（以前は3歯以上の反対咬合）、上顎前突は、オーバージェット7～8ミリ以上になりました（以前は8ミリ以上）。

要観察歯COへの対応は、適切な時期（3～6ヶ月）に臨時的健康診断を行い、経過観察するのが望ましいとされている。

学校歯科医所見の欄の記入として、隣接面や修復物下部の着色変化、むし歯の初期病変の兆候が、多数認められる場合には「CO要相談」と記入する。とあるのですが、多数の歯の数は、熊本県歯科医師会では、4歯以上と統一することになりました。

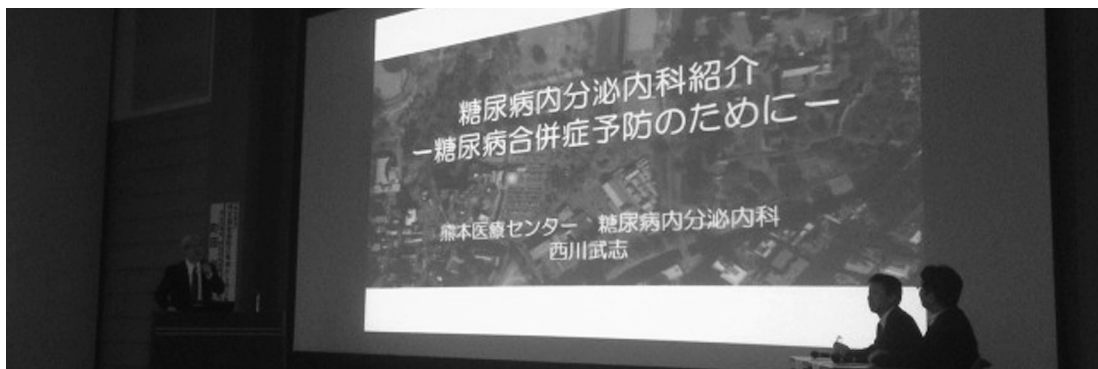
歯科健診における留意事項として、探針とピンセットは使用しない。ミラー2本法かミラーと各生徒の歯ブラシを持参してもらい健診を行う。基本的にはなるべく手指を口にいけないようにする。速乾性擦式手指消毒剤（ウエルパス等）を準備しておく。グローブは必要に応じてマメに交換する事が望ましい。検査器具の消毒は、高圧蒸気滅菌法かガス滅菌法が望ましいとのこと。

健診の流れを理解して判定誤差が生じないように、記録するスタッフや養護の先生とのすり合わせが必要であるようです。

（地域保健学校歯科 井手裕二）

# 診療録の正確な記載とインフォームドコンセントの徹底

## 国立病院機構熊本医療センター開放型連絡会



患者さんの為にも、より安全な医療体制を

2月27日(土)18時30分より国立病院機構熊本医療センターにて平成27年度第2回国立病院機構熊本医療センター開放型連絡会が開催された。開会に当たり、まず国立病院機構熊本医療センター河野文夫病院長により病院の現状の報告があった。365日24時間断らない救急医療について報告があり、最後に日頃の病病・病診連携への協力に対する感謝の言葉を述べられた。

次に、開放型病院運営協議会委員長で熊本市医師会福島敬祐会長より挨拶があり、りんどうネットワークにて遠隔地での連携も可能となり、病病連携、病診連携の重要性がさらに高まり、熊本医療センターとの連携システムを有意義に活用して頂きたいと述べられた。近年は年間約9000台の救急車の搬送があり、CT2台、MRI2台が現在稼働しており、がん医療にも積極的に取り込んでいると述べられた。紹介率が69.3%で登録医も1800名(医科1448名、歯科381名)を超えており連携が進んでいると述べられた。

続いて、連絡会に移り熊本市医師会家村昭日朗理事と国立病院機構熊本医療センター高橋毅副病院長の司会で国立病院機構熊本医療センター医師2名より、症例呈示が行われた。まず、糖尿病・内分泌内科部長の西川武志先生より「糖尿病地域医療連携及び糖尿病合併症検査外来の推進について」の演題で発表が行われた。DM

熊友パスといった循環型地域連携モデル、DM合併症外来といった網膜症、腎症、神経障害、末梢血管障害などの合併症の評価を行う紹介体制、DM合併症入院といった血糖測定、生活指導、栄養指導を行う合併症入院の紹介をされた。

次に、外科部長の宮成信友先生より「大腸がんの外科治療」の演題で発表があった。多臓器浸潤癌に対する腹腔鏡補助下手術が増加しており、年間約100症例大腸癌手術の中で半分が腹腔鏡補助下手術で行われていると報告があった。開腹手術でも腹腔鏡補助下手術でも生存率が変わらないという結果が報告されており、今後は腹腔鏡補助下手術がメインとなっていく可能性があるとして述べられた。

地域医療連携室からのお知らせとして、地域医療連携室長の清川哲志先生より、登録医数も増加しており、特にがん連携で歯科の登録医が多くなっていると報告があった。りんどうネットワークで細かい患者さんの情報の共有も可能となっており、積極的な活用をお願いされた。現在、在宅復帰率80.6%で、今後も地域の医院の協力をお願いされた。続いて、地域医療連携副室長の犬塚忠弘先生より紹介予約センターの紹介があった。現在まで676施設が利用されており、紹介予約が2年前の15%より47%まで増加し、患者さんもスムーズに診察を受けられる

ようになっていると述べられた。ホームページより予約申込書もダウンロードできるので尚一層の活用をお願いされた。

最後に、宮本格尚市歯会長から挨拶があり、熊本は医療環境に恵まれているがこれを持続できるように医療全体で頑張っていかなければと述べられた。高齢化社会に向けて歯科も患者さんが末永くお口から食事ができるようにしていきたい。市歯科医師会としても今後も連携を通しお世話になりますとの挨拶があった。

続いて厚生労働省医政局総務課保険医療技術調整官の町田宗仁先生より「特定機能病院の事例から学ぶ医療安全」と題して特別講演が行われた。特定機能病院とは高度の医療の提供、高度の医療技術の開発、評価、高度の医療の研修が行われる病院で厚生労働省が承認した病院であり、承認されると診療報酬で優遇され、熊本では熊本大学医学部附属病院のみである述べられた。事例1として東京女子医大での薬事法で小児に対して投与が禁忌とされるプロフォルを鎮静のため投与し死亡した事例を挙げられた。色々調べるとカルテ記載不足、術後管理の研修不足、多職種間の情報交換不足、薬剤投与後の異常所見を見逃す体制、術前、術後の患者家族への説明不足などが解り、結果的には特定機能病院の取り消しとなったと述べられた。今回の事例で特に大事な点は診療録の正確な記載、インフォームドコンセントの徹底であると述べられた。事例2では群馬大学医学部附属病院での特定の医師が行った腹腔鏡下肝切除術93例中8



糖尿病について研修する

例の死亡が発覚した事例を挙げられた。他の病院で起こった手術死亡例から院内安全ラウンドを行ってはじめて発覚したものであり、管理者や医療安全管理部長への報告や把握する体制が整ってなかったことを指摘され、結果的には特定機能病院の取り消しとなったと述べられた。この2例から再発防止のため厚生労働省からの各特定機能病院への集中立ち入り検査を行い、体制の改善と外部監査の徹底を行うようになったことを報告された。最後に患者さんのためにもより安全な医療体制を作る必要があり、安全規定や倫理指針を作ること、研修にでて学び続けること、高度医療と医療安全のバランスを考えることなどを行っていただきたいと述べられて特別講演会は終了した。歯科医療においても各医院において安全管理体制を作ることやカルテ記載、インフォームドコンセントを徹底することで患者さんのみならず、医療側を救うことにも繋がるものと感じた。

(医療管理 森野 茂)

# 「歯根嚢胞に対して感染根管処置で対応した症例」

熊本市歯科医師会会員 久木田 大

歯根嚢胞に対しての対応法として、外科処置を含めたさまざまな対応が考えられる。広範囲な骨欠損を有する歯根嚢胞に対して歯内療法にて対応したケースを提示したい。

## 〔症例〕

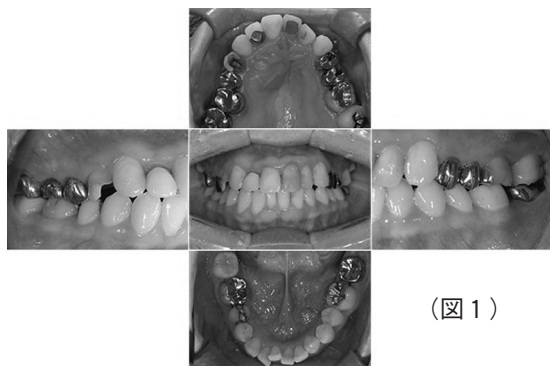
27歳 女性

初診2012年3月1日

主訴：14の脱離と上顎口蓋の腫脹

特記事項：なし

初診時口腔内写真



(図1)

初診時デンタル



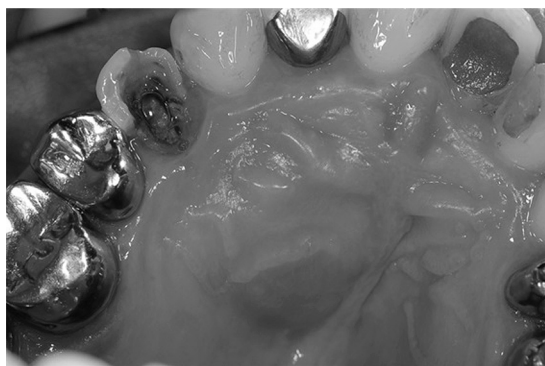
(図2)

初診時パノラマ



(図3)

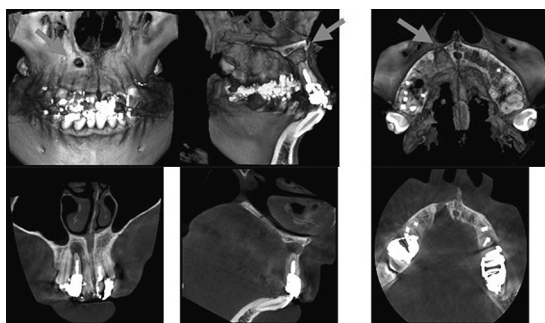
初診時口蓋腫脹部



(図4)

14の脱離と上顎口蓋側の腫脹を主訴に来院された。補綴物の脱離後口蓋歯肉の腫脹が起こり消えないとのことであった。デンタルXray、パノラマXrayにて診査の結果、12起因である可能性が高いことを説明の上、確定診断を行うためCT撮影を行った。(図1～図5)

初診時CT画像



(図5)

CT画像において12根尖部に類円形の透過像を認め、ボリュームレンダリング画像より唇側から口蓋側にかけて骨欠損を認めた。病理組織検査は行っていないが、骨欠損の形態、症状、内容物等より最終的に歯根嚢胞と診断した。歯根嚢胞とは慢性根尖性歯周炎の一種であり、上皮性嚢胞壁と内部に液状物が貯留した嚢胞壁からなる。嚢胞そのものが病巣であり浸透圧の上

昇とサイトカインによる骨破壊の活性化により肥膿化するとされている。

## 〔診断〕

12歯根嚢胞

## 〔治療経過〕

既存の補綴物、根管内のガッタパーチャポイントを除去し、根尖までファイルの穿通を行った。穿通により排膿路が確保されたことで内部より多量の排膿を認めた。(図6)

根管からの排膿



(図6)

排膿後の口蓋側腫脹の減少



(図7)

しかし、拍動性に多量の排膿を認めるものの、排膿後約30分で再び口蓋側の腫脹が起るため、内圧を低下させるため根管を解放状態とした。数回の根管治療の中で行ったことは積極的に内圧を低下させるためシリンジにて内容物の吸引を行い、根尖を超えて超音波にて洗浄、さらに

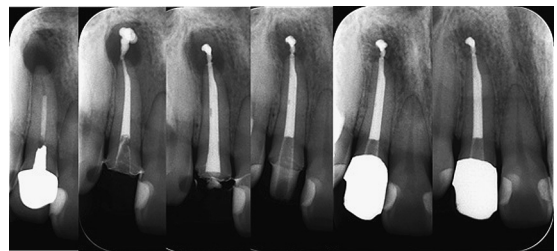
腫脹部を外部より圧迫し排膿を促進させることを繰り返した。図7

約1ヶ月の根管治療の後、排膿量の減少、腫脹の減少を確認の上、水酸化カルシウム製剤の填入を行った。水酸化カルシウムの嚢胞腔内へ填入は嚢胞腔内の中和と嚢胞壁上皮の破壊を目的とした。

初診より約4ヶ月の時点で排膿、腫脹等の消退を確認し根管充填を行った。

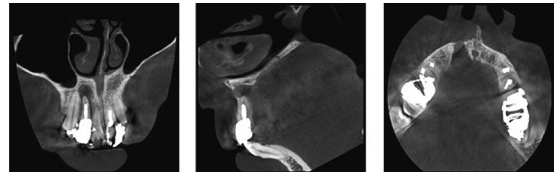
その後患者の希望により最終補綴を行った後、半年に1回デンタルにて根尖透過像の縮小を確認した。(図8～図12)

デンタルの経過



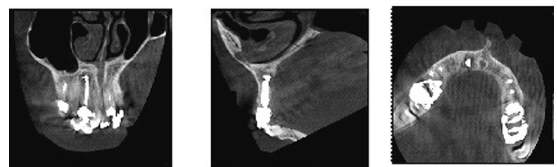
2014/3/1 2014/4/18 2014/7/26 2014/11/22 2015/8/1 2016/2/20  
(図8)

2014年3月18日

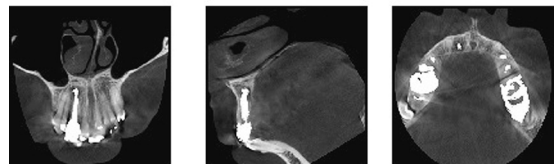


(図9)

2015年8月1日



2016年2月20日



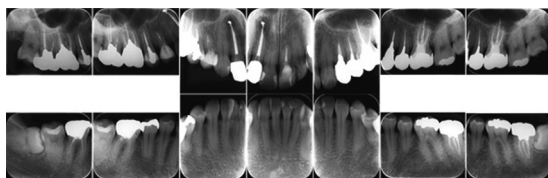
(図10)

治療終了時口腔内写真



(図11)

治療終了時デンタル14枚法



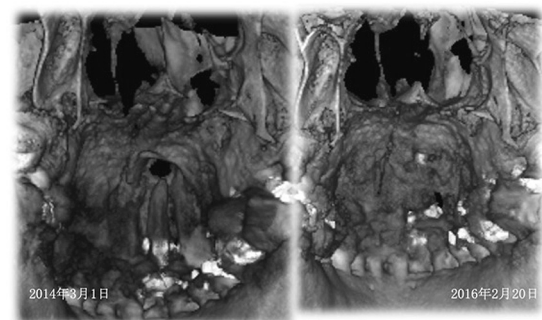
(図12)

治療前後CTボリュームレンダリング画像比較（唇側）



(図13)

治療前後CTボリュームレンダリング画像比較（口蓋側）



(図14)

初診より約2年後デンタルにて根尖透過像はほぼ消失した。またCT画像において口蓋側の皮質骨の回復を認め治癒したと判断した。(図13、図14)

## 〔考察〕

歯根嚢胞は嚢胞壁を有し、拡大傾向にあり一般的には難治性の疾患である。歯根嚢胞の外科的摘出と歯根端切除術を選択することも考えられるが、今症例においては口蓋側の骨欠損が大きく嚢胞摘出を行うには口蓋側よりアプローチもしくは唇側の骨の削合しアプローチする方法を考えなければならない。また摘出後の骨補填も考える必要がある。患者の年齢、性別、侵襲度を考慮の上、第一選択として歯内療法での治癒を試みた。また、治癒しない場合に外科的摘出を行うにしても歯内療法を行うことで嚢胞を縮小させることができれば、患者の侵襲は最小限に抑えることができると考えた。

今後も歯根嚢胞に限らず、患者の状況、背景を考慮しできるだけ低侵襲な治療を心がけていきたい。





# 交流は「九龍」の如く

## 高雄歯科医師会との交流会



3月26日（土）18時より、ホテル日航熊本レ・セレプリテにて、高雄市歯科医師会との交流会を開催した。

これは、昨年11月（中岳172号で既報）に伊東歯科口腔病院の伊東隆三先生のご尽力により、高雄市歯科医師会を宮本格尚会長が表敬訪問されたことに高雄市歯科医師会側が応えるもので、今回は3月25日（金）に行われた「熊本市春のお城祭り」のイベントで高雄市歯科医師会監事、孫正信先生の奥様が音楽家であり、イベントに楽団を率いて演奏されることに合わせて、総勢12名で来熊されました。

高松尚史専務理事の司会進行の下、宮本会長と高雄市歯科医師会の陳雅光理事長（会長）による挨拶があり、伊東隆三先生による乾杯で宴に入った。



歓迎の意を述べる宮本会長



シャンパンで乾杯

宮本会長挨拶

皆さん、こんばんは。

陳理事長をはじめ、高雄の先生方、本日はようこそ熊本にお越し下さいました。

先生方と、熊本市歯科医師会の交流会ができますことを、心よりお喜び申し上げます。また、今回、色々とお世話いただいた伊東先生には感謝申し上げます。

桜の咲く熊本城はいかがだったでしょうか？日本3名城にも数えられ、全国のお城の中で、今、一番来場者の多い人気のお城です。我々県民も誇りにしております。

また、熊本には世界一のカルデラを誇る阿蘇山や天草があり、山の幸、海の幸が豊富です。くまモンも、世界進出しております。水道水は地下水を使っており、そのまま飲めるミネラルウォーターです。その他にも良い所がたくさんあります。短い期間ですが、ぜひ熊本と九州を満喫してください。

高雄、熊本の直行便が出来ましたので、本当に近くなりました。今後とも、活発な交流ができますことを願っております。

昨日は、前夜祭でかなり盛り上がりました。乾杯の掛け声で、何杯飲んだでしょうか？本日は、メンバーも増えておりますので、短い時間ではありますが、より楽しい交流会になればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

宴では、18歳まで日本で育った高雄市歯科医師会理事の葛家銘先生に通訳してもらいながら交流を重ね、アルコールが回ってくると各自英単語の羅列とジェスチャーで何となく意味が通じ、まさしくコミュニケーションは教室の英語ではなく、現場の実践に尽きるという体験をこの交流会で体験させて頂きました。

筆者である私の父は、（台湾高雄の近くの、今では高雄市に合併したと教えて貰いましたが）



労を取って頂いた伊東隆三先生（前列右）  
美濃という所の出身なので、それを英語で伝え  
ると、とても驚かれていました。



乾杯要員、集合！

そうこうしていると、あちこちで「カンペー  
イ！カンペーイ！」の声と写真撮影が始まり、  
特に杜世偉先生と井野健先生は気があったのか、  
義兄弟の契りが結ばれたようでした。はたから  
見てもお二人は同じ雰囲気でした。



兄弟になったようです

宴も終盤になると陳理事長より友好の記念品  
として、龍が九匹いる九龍の皿を頂きました。  
中国では「九」は「久」と音が通じることから  
永遠あるいは永久を意味するめでたい数字であ



九龍の皿を頂く



縁起のいい九龍の皿

り、また「龍」も非常に縁起のいい想像上の動  
物とされ、そのいいとこ取りのお皿を頂き、大  
変恐縮しました。

ただ、この楽しい交流会も永久に続ける訳に  
はいかず、高雄市歯科医師会の先生方は阿蘇に  
ホテルをとられたこともあり、迎えのバスが来  
た為なごり惜しく終わりました。



安心して下さい、前の二人生きています

今度は、来年3月頃の熊本市歯科医師会役員  
の高雄への再表敬訪問を誓って本会、田中弥興  
副会長の締めで交流会を終了した。

(広報 温 永智)

## 子育て支援者向けの講演 「妊娠期から始まる子どものむし歯予防～歯と全身の関わり～」ご報告

ママと子どもの健口を育む会 副会長 西村 幸郎



会場には100名程の関係者が集った

今回、熊本市が政令指定都市で3歳児のう蝕がワーストワンになったこともあり、行政からの「ママと子どもの健口を育む会」への講演依頼に応える形で、2月19日、ウェルパルクまもと大会議室にて講演を行いましたので、ここにご報告致します。今回の対象者は子育て携わる保育士、保健師、看護師、栄養士、行政、8020推進委員、医師、歯科医師、歯科衛生士の方々100名ほどでした。講演では冒頭に熊本市東区役所子ども課の山川摩利子先生より「熊本市における子どものむし歯の現状と行政の取り組みについて」講演があり、胎児期および妊娠期の妊婦の状況（有病率、喫煙率、かかりつけ歯科医を持つ割合）、乳幼児期におけるむし歯の有病率などを話していただきました。その中でむし歯がある3歳児の特徴として、

- ・卒乳していない・哺乳瓶を使用している・間食が3回以上・就寝時間が22時以降、保護者による仕上げ磨きができていない・母親の喫煙・ジュース等を飲む・間食の時間を決めていない

などのことが指摘されていて、親の意識や食生活などの生活習慣が重要であることが改めて認識できました。

山川摩利子先生の講演のあと、村上慶先生が歯の一般的な話をされ、私が1時間講演させていただきました。限られた時間でしたので、ポイントを3つに絞ってお話しました。以下がその内容です。

### 1、むし歯について

昔よりむし歯は減ってるが、先進国の中でまだ歯を失う数が多いこと。

むし歯予防は早ければ早いほど効果が高いこと。

痛みがあったり、詰め物被せ物が外れたり、なにかあった時に来院するのではなく定期的なチェックアンドクリーニングが大切。

そしてどのようにしたら一生自分の歯で食べていけるか？

健康は正しい知識と実践で得るもので、医者

任せ 歯医者任せではいけないこと。

むし歯、歯周病について学ぶ場所が歯医者であること。

## 2、歯ならびについて

近年顎が小さく、歯は大きくなり、歯並びの悪い子が増えてること

顎が小さいと気道が狭く、口呼吸になりやすいこと。

その結果アトピー・喘息・無呼吸症候群など  
「アンケート結果より」

全身的な問題につながる可能性があること。

自分自身が上顎が狭く口呼吸で喘息になり、  
顎外科により改善したこと。

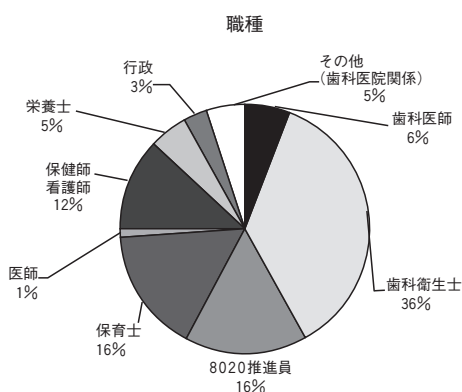
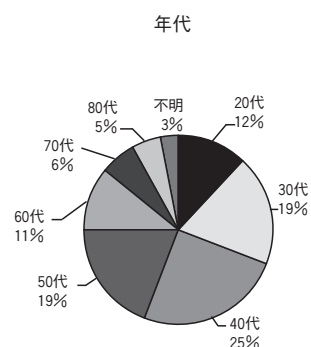
授乳と食生活について。

## 3、歯がなくなる原因はむし歯 そして歯周病

歯周病は早産・低体重時出産・脳血管心臓疾患につながる可能性があること。

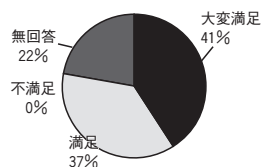
あなたの家族の歯と歯から始まる健康を守る  
のはあなただということ。

◆アンケート回収数 64枚（男性7人 女性57人） 受講者96人

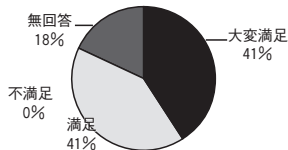


◆本日の研修会はいかがでしたか。

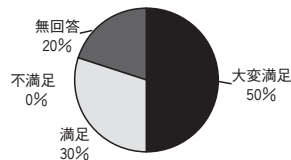
全体（64人）



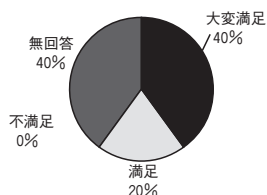
歯科関係者（27人）



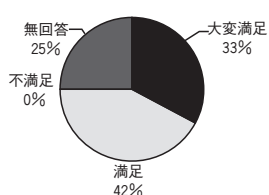
8020推進員（10人）



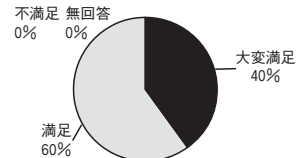
保育士（10人）



歯科関係者を除く  
医療関係者（12人）



行政、その他（5人）



※その他…受付などの歯科医院職員

### 「アンケートの感想より」

とてもためになったお話でした。

歯の大切さが健康や未来にまでつながることが勉強になった。

定期的なメンテナンスの大切さを感じました。

歯についての考え方が変わり、健康についてとても重要だと認識することが出来ました。

先生方の熱意が感じられました。

学んだことを子どもたちや保護者の方などに伝えていきたいと思います。

口から始める健康づくりという視点から、歯科医師の連携も必要かと思います。

口の健康を守るために出来ることがまだあるような気がします。

以上が講演内容とアンケートの結果です。  
「子どもとママの健康を育む会」では、「カリエスフリーで健全な歯列を持つ若者をできるだけ育てる」ことを目的に、毎月福田病院と慈恵病院に妊産婦を対象とした講演を行っていて、そ

の活動が行政に知れて今回の講演依頼につながっています。現在10歯科医院が参加して活動が続けていますが、今後もこのような活動を通じて熊本市民の健康増進に寄与できればと思っています。

## コラム

### 「天候」

歯医者も天候には勝てませんよね。

台風襲来、大雨警報、酷暑で熱中症注意、積雪…

高齢者にとっては、外出も危険です。

そんな時は、キャンセル続きで当然仕事が暇になります。

こんな時こそ、たくさん給料出してるスタッフにしてもらう事。

先生方は、ユニット磨き以外に何がありますか？

### 「技工指示書」

外注が多くなった現在は、技工士さんは口腔内を見ることが出来ません。

画像データを添付すれば、ある程度は分かりますが。

先生方は、指示書を技工士さんの立場を考えて書いていますか？

生身の患者さんを診ている私たちは、模型上には出てこない多くの事を知っています。

「これを伝えてたら、技工に役立つかなー。」

そんな一言一行をラボサイドはどうやら待っているようです。

(K.A)

# 熊本地震の記録



しゃちほこ崩落



めくれ上がった歩道



散乱した室内



益城に向かう宮本会長（右）と高松専務



支援の飲料水



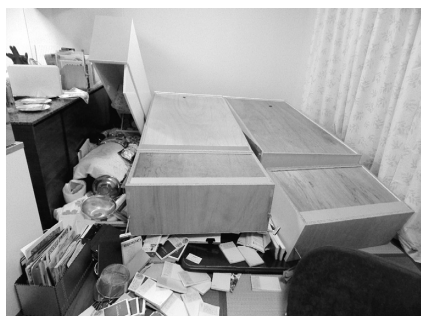
甚大な被害の熊本城



倒れた石柱



長堀倒壊



倒壊した家具



崩れた石垣



崩れ落ちた櫓



東十八間櫓崩壊



押しつぶされた大神宮



1階駐車場が潰れたマンション



水前寺公園の鳥居



口腔ケア用支援物資



支援物資の中のメッセージ



破壊されたCT



足の踏み場もない屋内



潰れた家屋

未曾有の天災に対して、人はかくも無力なのか。

私たち広報委員会は、この時何が起こり、どのように行動したのかを後世に知らしめるのも意義があると考え、あえて記録としての写真をわずかではありますが残します。



# スポーツの広場



## あつまるデンタルゴルフ会

| 1月17日(日) |       | 13名 |    |     |    |     |
|----------|-------|-----|----|-----|----|-----|
|          |       | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝       | 濱坂浩一郎 | 53  | 48 | 101 | 31 | 70  |
| 2        | 原田 雅史 | 47  | 50 | 97  | 27 | 70  |
| 3        | 安田 光則 | 50  | 42 | 92  | 21 | 71  |
| 4        | 本田 治夫 | 51  | 50 | 101 | 28 | 73  |
| 5        | 山室 紀雄 | 51  | 48 | 99  | 25 | 74  |
| B.B.     | 寺島 美史 | 59  | 59 | 118 | 37 | 81  |

| 2月14日(日) |       | 10名 |    |     |    |     |
|----------|-------|-----|----|-----|----|-----|
|          |       | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝       | 安田 光則 | 43  | 46 | 89  | 20 | 69  |
| 2        | 関 剛一  | 46  | 51 | 97  | 25 | 72  |
| 3        | 田村 実雄 | 46  | 51 | 97  | 25 | 72  |
| 4        | 本田 治夫 | 50  | 50 | 100 | 28 | 72  |
| 5        | 坂井 満  | 45  | 48 | 93  | 20 | 73  |
| B.B.     | 濱坂浩一郎 | 57  | 57 | 114 | 27 | 87  |

| 3月13日(日) |       | 15名 |    |     |    |     |
|----------|-------|-----|----|-----|----|-----|
|          |       | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝       | 樋口 博一 | 43  | 44 | 87  | 24 | 63  |
| 2        | 原田 雅史 | 46  | 45 | 91  | 25 | 66  |
| 3        | 合澤 康生 | 43  | 50 | 93  | 22 | 71  |
| 4        | 田村 実雄 | 49  | 48 | 97  | 25 | 72  |
| 5        | 北川 隆之 | 43  | 41 | 84  | 12 | 72  |
| B.B.     | 坂井 満  | 51  | 48 | 99  | 20 | 79  |

## 熊本デンタルゴルフ会

| 平成28年2月14日(日) |       | 9名  |    |     |      |      |
|---------------|-------|-----|----|-----|------|------|
|               |       | OUT | IN | GRO | HD   | NET  |
| 優勝            | 神戸 威  | 44  | 46 | 90  | 18.0 | 72.0 |
| 準優            | 稲葉 逸郎 | 44  | 44 | 88  | 14.4 | 73.6 |
| 3             | 三笥 司  | 46  | 41 | 87  | 13.2 | 73.8 |
| 4             | 渡辺 洋  | 54  | 54 | 108 | 33.6 | 74.4 |
| 5             | 工藤 隆弘 | 50  | 46 | 96  | 21.6 | 74.4 |
| 6             | 甲斐 利博 | 44  | 46 | 90  | 15.6 | 74.4 |
| 7             | 大嶋 健一 | 49  | 46 | 95  | 20.4 | 74.6 |
| 8             | 椿 幸雄  | 53  | 59 | 112 | 34.8 | 77.2 |
| 9             | 内田 隆  | 54  | 48 | 102 | 20.4 | 81.6 |

| 平成28年3月27日(日) |       | 11名 |    |     |      |      |
|---------------|-------|-----|----|-----|------|------|
|               |       | OUT | IN | GRO | HD   | NET  |
| 優勝            | 中島 義和 | 40  | 43 | 83  | 10.7 | 72.3 |
|               | 元島 博信 | 47  | 43 | 90  | 17.7 | 72.3 |
| 3             | 大嶋 健一 | 44  | 43 | 87  | 14.2 | 72.8 |
| 4             | 添島 正和 | 51  | 49 | 100 | 25.0 | 75.0 |
| 5             | 三笥 司  | 43  | 43 | 86  | 10.0 | 76.0 |
| 6             | 工藤 隆弘 | 49  | 47 | 96  | 19.8 | 76.2 |
| 7             | 神戸 威  | 52  | 49 | 101 | 24.3 | 76.7 |
| 8             | 椿 幸雄  | 50  | 56 | 106 | 29.2 | 76.8 |
| 9             | 小柳 一哉 | 48  | 52 | 100 | 22.0 | 78.0 |
| 10            | 甲斐 利博 | 51  | 46 | 97  | 18.3 | 78.7 |
| 11            | 稲葉 逸郎 | 45  | 46 | 91  | 9.0  | 82.0 |

# 会 務 報 告

## 理 事 会

| 月 日      | 協 議 題      |
|----------|------------|
| 2 月 25 日 | 会務、会計、庶務報告 |
| 3 月 22 日 | 会務、会計、庶務報告 |

## 厚 生 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                            |
|----------|--------------------------------------------------|
| 2 月 26 日 | ・代診派遣制度規程<br>・障がい者施設の健診・指導<br>・新年会について<br>・人間ドック |
| 3 月 14 日 | ・委員会旅行<br>・障がい者歯科                                |

## 医 療 管 理 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                                            |
|----------|------------------------------------------------------------------|
| 2 月 17 日 | ・医歯連携セミナー                                                        |
| 2 月 19 日 | ・2016年カレンダー日程のチェック                                               |
| 3 月 16 日 | ・救急歯科協議会報告<br>・第18回歯科医療管理学会について<br>・レベルアップセミナーについて<br>・労務講演会について |
| 3 月 28 日 | ・医療相談について                                                        |

## 広 報 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                     |
|----------|---------------------------|
| 2 月 2 日  | ・中岳172号レイアウト<br>・歯っぴい通信校正 |
| 2 月 16 日 | ・中岳172号第 1 稿 校正           |
| 2 月 23 日 | ・中岳172号第 2 稿 校正           |
| 3 月 29 日 | ・中岳173号目次決め               |

## 地域学校歯科保健委員会

| 月 日   | 協 議 題                                                                                                                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯の祭典について</li> <li>・ 企業、事業所歯科健診について</li> <li>・ 後期高齢者歯科健診について</li> <li>・ 無料健診の件について</li> <li>・ 企業健診について</li> <li>・ 2016年歯の祭典について</li> </ul> |
| 3月3日  |                                                                                                                                                                                    |
| 3月10日 |                                                                                                                                                                                    |

## 社会保険委員会

| 月 日   | 協 議 題                                                                                                                                               |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28年度点数改定変更点について</li> <li>・ 請求事務の手引き書作製について</li> <li>・ H28年度歯科診療報酬改定の要点について</li> <li>・ 保険改定について</li> </ul> |
| 3月9日  |                                                                                                                                                     |
| 3月17日 |                                                                                                                                                     |

## 学 術 委 員 会

| 月 日   | 協 議 題                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月9日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術講演会について</li> <li>・ 2/27市民病院太田先生講演会について</li> <li>・ 熊本市歯科医師会第3回学術講演会について</li> <li>・ ラジオ出演</li> <li>・ 7月2日 平成28年度第1回熊本市歯科医師会学術講演会について</li> </ul> |
| 2月27日 |                                                                                                                                                                                          |
| 3月8日  |                                                                                                                                                                                          |
|       |                                                                                                                                                                                          |

## 編 集 後 記

平成28年4月14日、16日は我々熊本県民にとって一生忘れることのできない日になりました。

今回の地震によって被災された会員の皆様、ご家族、スタッフの皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。まだまだ復興には時間がかかるかもしれませんが、なるべく早めに従来の生活が戻ることを期待して頑張っていきましょう！

(S. I)

熊本市歯科医師会会誌

第 173 号

発行日 平成28年 5月18日発行

発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会  
熊本市中央区坪井 2 丁目 4 番15号

<http://kcd8020.com/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行  
責任者 宮 本 格 尚

印刷所 コロニー印刷

熊本市西区二本木 3 丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294